

学ぶということ。好奇心が燃えているということ。子供でいていいということ。身をもってどっぷりと体験するということ。一生かかっても時間が足りないということ。贈り物のようなもの。そして誰かへの贈り物であること。

演劇は時間をかけて全身で学ぶということ以外で道は開けないと思う。学び終わることもないはず。俳優を職業にしたとしても学ぶことは終わらないし、しかもたった一人では学べない。課題も経験値も出発点も目標も違う誰かと共に学ぶ長い道。今すぐ知りたいワードを入力して「検索」をクリックするのは違って、面倒くさい体験に次ぐ体験だらけ。しかしその遠回りのステップを通してふと気づけば専門的知識や基礎のようなものが絡みついていたりする。と同時に、美味しい水と空気、アルプス山脈から吹く風がただシンプルに身体を吹き抜けて、知識や理解から解放されていく瞬間もここ松本ではやってくる。

前身「まつもと演劇工場」での活動は「まつもと演劇工場 NEXT」となって、やがて通年活動へ。さらに開かれた持続的な学びの場となることで、受講生も講師もどんな時間を創造するだろう。これから関わるであろう全ての人に期待をこめて。

山田うん